



■使用評価マニュアル：CASBEE柏2014年版

（使用評価ソフト：CASBEE柏2014(v.1.22)）

評価結果

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)株式会社YMTビル新築工事 | 階数 | 地上7F |
| 建設地 | 千葉県柏市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居地域、柏北部中央地区 | 平均居住人員 | 126 人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年11月 予定 | 評価の実施日 | 2015年8月27日 |
| 敷地面積 | 1,406 m ² | 作成者 | 大和ハウス工業㈱敦澤 |
| 建築面積 | 517 m ² | 確認日 | 2015年8月31日 |
| 延床面積 | 2,698 m ² | 確認者 | 敦澤 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|--|---|
| <p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> | <p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | <p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p> |

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.1**

| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
|---|------------------------------|--------------------------------|
| Q1のスコア = 3.6 | Q2のスコア = 3.0 | Q3のスコア = 2.5 |
| 音環境: 3.0, 温熱環境: 4.6, 光・視環境: 3.2, 空気質環境: 3.0 | 機能性: 3.2, 耐用性: 2.9, 対応性: 2.9 | 生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5 |

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.2**

| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
|---|----------------------------------|----------------------------------|
| LR1のスコア = 3.9 | LR2のスコア = 2.6 | LR3のスコア = 3.0 |
| 建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.1, 効率的: 3.0 | 水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.6, 汚染物質: 2.3 | 地球温暖化: 3.1, 地域環境: 2.8, 周辺環境: 3.1 |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|---|
| <p>総合</p> <p>景観・まちづくりにおいて『柏の葉キャンパス駅周辺』という、県市ともにの市街地形成に力を入れている地区の為、これからの柏の葉キャンパス駅周辺のまちづくり形成に貢献できる様に計画を行った。</p> | <p>その他</p> <p>0</p> | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>日本住宅性能表示基準『5-1.断熱等性能等級』における等級4が確保できるように断熱材等を計画し建物外皮の熱負荷に配慮している。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>階高・天井高さを出来る限る確保し空間のゆとり配慮している。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>柏の葉キャンパス駅周辺の景観形成に貢献する建物となる様に敷地内緑化及び建物外装計画に配慮している。</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>日本住宅性能表示基準『5-1.断熱等性能等級』における等級4が確保できるように断熱材等を計画し、省エネルギー法における平成25年省エネルギー基準の一次エネルギー消費量の基準を満たせる計画としている。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>二重床・二重天井の採用により、解体時に躯体と仕上材を分別可能としている。</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内に積極的に緑地を計画し、平置き駐車場等を整備することで、敷地外環境に配慮している。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

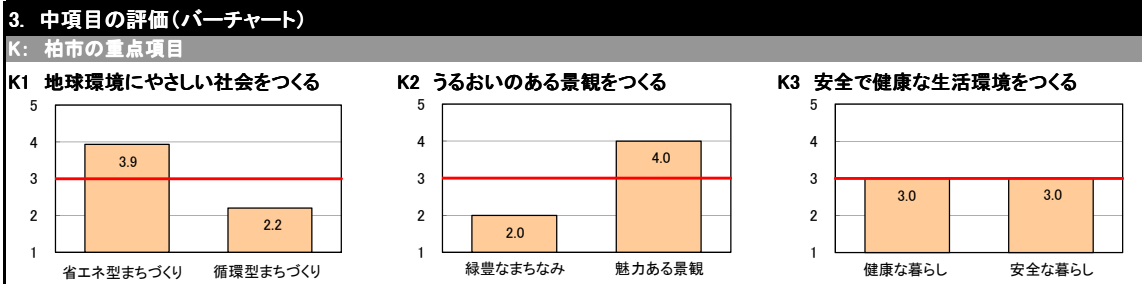


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.1.22)

| | | | |
|------------------------|-------------------|----|--------|
| 1 建物概要 | | | |
| 建物名称 (仮称)株式会社YMTビル新築工事 | 建築物の環境効率 (BEEランク) | B+ | ★★★★☆☆ |

| 2 重点項目への取組み度 | | | |
|---|---------------|-------------|---------------|
| 重点項目 | 取組み度※(得点/満点) | | 評価結果 |
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | 3.0 / 5.0 | ☆☆☆☆ | |
| K2 うるおいのある景観をつくる | 3.0 / 5.0 | ☆☆☆☆ | |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | 3.0 / 5.0 | ☆☆☆☆ | |
| ※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例) | すばらしい 4点以上 | ふつう 3点以上 | がんばろう 3点未満 |



| | | | |
|---|--|--------------------------|----------|
| 4. 設計上の配慮事項 | | | |
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | | スコアシート | |
| 日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」における等級4が確保できるように断熱材等を計画し建物外皮の熱負荷に配慮している。 | | 1. 省エネ型まちづくり | |
| | | 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) | スコア 5.0 |
| | | 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) | スコア 3.0 |
| | | 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) | スコア 4.1 |
| | | 1.4 効率的な運用(LR1-4) | スコア 3.0 |
| 二重床・二重天井の採用により、解体時に躯体と仕上材を分別可能としている。 | | 2. 循環型まちづくり | |
| | | 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) | スコア 3.0 |
| | | 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) | スコア 対象外 |
| | | 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) | スコア 2.6 |
| | | 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) | スコア 1.0 |
| K2 うるおいのある景観をつくる | | スコアシート | |
| 敷地内に積極的に緑地を計画し自然環境に配慮している。 | | 1. 緑豊かなまちなみ | |
| | | 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) | スコア 2.0 |
| 柏の葉キャンパス駅周辺の景観形成に貢献する建物となる様に接道緑化(アイラインの緑化)、建物基調色(周辺からの景観)に配慮している。 | | 2. 魅力ある景観 | |
| | | 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) | スコア 3.0 |
| | | 2.2 水空間の創出 | 設置の有無 - |
| | | 2.3 道路沿いの緑化 | 緑視率の確保 O |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | | スコアシート | |
| 敷地内通路や共用廊下に段差を生じさせないように計画し高齢者や障害者の生活動線に配慮している。 | | 1. 健康な暮らし | |
| | | 1.1 空気質環境(Q1-4) | スコア 3.0 |
| | | 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) | スコア 3.0 |
| 塀等を設けず道路面からの見通しに配慮し、平置き駐車場等により敷地内の見通しにも配慮している。 | | 2. 安全な暮らし | |
| | | 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) | スコア 3.0 |
| | | 2.2 防犯対策 | 防犯性の配慮 - |